

2021年7月2日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
会長 橋本 聖子 様

学校連携観戦に関する要請

全日本教職員組合（全教）
中央執行委員長 宮下 直樹



現在、東京都では新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大の兆しが現れています。

多くの国民が、東京オリンピック・パラリンピックを開催することで、いっそうの感染拡大を招くのではないかと不安を抱えています。

観客数の上限を1万人とし、学校連携観戦については別枠扱いとする方針が示されています。学校連携観戦については、かねてより、炎暑の中での移動や観戦により熱中症のおそれがあることが指摘されてきました。加えて、新型コロナウイルスに感染する恐れがあるなかで強行することは、教育活動の中で最優先されるべき、子どもたちが安心・安全に学べることと相いれません。全教の学校連携観戦に関する要請に対して文科省は「学校連携観戦の取り扱いについては、現在、組織委員会において検討され、適切に判断されるものと認識しています」と回答するとともに「各学校等においては子どもの安全と安心を第一に考えて、参加の可否について、適切に判断していただきたいと考えております」と回答しています。

子どもや教職員のいのちと健康を守るために、多くの学校や教育委員会が学校連携観戦をとりやめる決断をしています。一方で、今もなお、学校連携観戦を実施しようとしている学校や教育委員会もあります。しかし、感染リスクが高い学校連携観戦を強行することはまったく不適切であり、再考されるべきです。

以上の観点から、下記の通り要請します。

記

貴組織委員会として、すみやかに学校連携観戦の中止を決定し、周知すること。

以上